

# カルテ資料

[ ホール ～ホール形状(タイプ)～ ]

■客席形状のタイプ

	①フラット（平土間）タイプ	②ワンスロープタイプ	③セミバルコニータイプ	④バルコニー（2層）タイプ	⑤バルコニー（多層）タイプ
断面イメージ					
施設名	小規模ホール			大規模ホール	盛岡市民ホール
多機能化					
施設名	ふるさと交流館、アイーナホール				

■客席タイプの長所・短所

	平土間	平土間（ロールバックチェア移動席）	固定席
断面イメージ			
採用のねらい	観覧席としての利用以外にダンスやイベントなどの多様な利用が可能であり、ホールの稼働率も高い。	平土間の多様な利用が可能な利点を備えながら、ロールバックチェア移動席により観覧機能（見え方）を補ったもの。	ホール利用の多様性より観覧席のグレードを重視。
ホール規模との関係	観覧席としては、席の高さが同じであるため小規模なホールでの採用が多い。（200～500席程度）大規模になると舞台上が見えにくくなる。	比較的中規模のホール（400～800席程度）の利用が多い	大規模なホールに多い
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホールの利用幅が広く、稼働率が高い。</li> <li>イベントとしての活用が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホールの利用幅が広く、稼働率が高い。</li> <li>イベントとしての活用が可能</li> <li>中規模ホールでも舞台上の見え方を補うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定した席による安定感にある高い客席グレードとなる。</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>舞台上の見え方から大きなホールは望ましくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平土間・固定席に比べコスト高となる。</li> <li>すわり心地は固定席に比べグレードが劣る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観覧以外の多様な活用が不可である。</li> </ul>

■可動席ホールにおける代表的な形

	コンサート形式	アリーナ形式	展示形式
イメージ			
写真			